



平成 28 年 4 月 28 日

各 位

会社名 三井造船株式会社
代表者名 代表取締役社長 田中 孝雄
(コード：7003、東証第一部)
問合せ先 執行役員 財務経理部長 塩見 裕一
(TEL 03-3544-3225)

連結決算及び個別決算における損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期連結決算及び個別決算において、下記のとおり損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

なお、平成 28 年 3 月期通期連結業績につきましては、平成 28 年 2 月 3 日に公表いたしました予想値と比較して、売上高、営業利益及び経常利益はほぼ予想通り、親会社株主に帰属する当期純利益は予想値を上回りました。詳細は本日公表いたしました平成 28 年 3 月期決算短信（連結）をご参照ください。

記

1. 連結決算における損失の計上

当社の連結子会社において建造中の海洋支援船 4 隻については、設計変更や後戻り工事の発生等による建造費用の増加により、第 3 四半期までに合計 109 億円の損失を計上したことはすでにお知らせしております通りです。当社としては、大幅な納期遅延を防止し、工程を早期に正常化させるためには、技術・技能者の派遣による支援にとどまらず、より主導的に関与する必要があると判断し、当社が全 4 隻のうち 2 隻を分担建造することを柱とした建造体制の見直しを行いました。この変更を踏まえ、納期の見直しとともに予想される費用について慎重に見積りを行った結果、約 41 億円の追加損失が発生する見込みとなりましたので、これを受注工事損失引当金（売上原価）として計上いたしました。

当社は、引き続き当該子会社とともに全 4 隻の完成に向けて鋭意対応してまいります。

2. 個別決算における損失の計上

前項の子会社での損失の計上に伴い、当社個別決算において当該子会社に係る関係会社株式評価損を 34 億円計上いたしました。第 3 四半期に 73 億円を計上しておりましたので、評価損の累計額は 107 億円となります。なお、関係会社株式評価損は、連結決算では消去されるため連結業績には影響いたしません。

<ご参考>

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 810,000	百万円 12,000	百万円 15,000	百万円 6,000	円 銭 7.42
今回実績値 (B)	805,413	11,813	15,078	7,599	9.40
増減額 (B-A)	△4,587	△187	78	1,599	—
増減率 (%)	△0.6	△1.6	0.5	26.7	—

営業利益及び経常利益については上記の減益要因がありましたが、機械及びエンジニアリングセグメントの増益でカバーしたことなどによりほぼ予想通りとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益など特別利益が増加したことにより予想値を上回りました。

以上